

《学習指導案チェックリスト 抜粋》

作成：文部科学省教科調査官 水戸部修治

- ① 当該単元で取り上げる指導事項等は明確か
 - ・ 指導事項等との対応関係が明確になるよう目標を設定しているか（指導目標に、指導事項の記号等を明記するなどの工夫を行う）
 - ・ 指導事項等の趣旨を確実に踏まえているか（例：指導目標に、指導事項に位置付けられている「目的や必要に応じて、」といった文言が欠落しないようにする）

- ② 指導事項等と結び付く、単元を貫く言語活動が位置付いているか
 - ・ 単元を貫く言語活動は、子どもたちが取り組んでみたいという課題意識をかき立てるものか（子どもの課題意識を喚起しにくい例：▲「段落相互の関係に気を付けて読み取り、考えを述べ合うこと」→子どもの課題意識とかけ離れており読む目的や読んでどうするかが見通しにくい）
 - ・ 単元を貫く言語活動は、課題解決の過程を明確に打ち出せるものとなっているか（課題解決の過程がなく、同一の活動を繰り返すだけの例：▲場面ごとに読み取り、各場面で〇〇日記を書く→課題解決の過程が意識しにくく、場面ごとの読み取りを強調してしまっている）
 - ・ 学習指導案には、「単元を貫く言語活動とその特徴」（①どんな言語活動を位置付けるか、②その特徴は何か、③指導目標とどのように結び付くのか）を明記しているか（言語活動の手順の説明にならないようにする）
 - ・ 既存の活動を言語活動として設定する場合でも、それがねらいに応じたものとなるよう工夫して位置付けているか（単に既存の、あるいは特定の活動をうまく行わせるだけにならないようにする→手作りの言語活動を）
 - ・ 主体的に学習に取り組む態度につながる言語活動の設定を工夫しているか（例：「大好きなところを紹介する」「すごい！を見つけて自慢する」「グッとくる叙述を推薦する」「心に残る場面の移り変わりを紹介する」）
 - ・ 授業者はその言語活動を実際に行ってみたか

- ③ 単元の評価規準は、①で取り上げる指導事項等とずれがないように設定されているか
（指導事項×言語活動でより具体的に設定する。参考：国立教育政策研究所「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」）

- ④ 単元の導入部は、単元を貫く言語活動全体を見通すものとなっているか
（全文を通読し・・・などといった紋切り型の導入にならないように）
【参考】総則第4 2（4）各教科等の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるよう工夫すること。

- ⑤ 単元の展開部は単元を貫く言語活動と密接に結び付くものとなっているか
- ・ 学習指導案の「単元の指導計画」の、いわゆる第二次にも、単元を貫く言語活動とのつながりが明記されているか（例：「変身ボックス」で紹介することに向けて、物語のあらすじをとらえる。）
（展開部も単元を貫く言語活動と結び付けることで、子どもが何のためにその学習活動を行うのか理解できるようにする）
 - ・ 場面ごと段落ごとに読み取る指導を改善する工夫がなされているか（例：全文から好きなどころを見つけて読む、推薦したい叙述とその理由を作品全体から探して読む、求める情報に合う段落を見つけて読む、など）
- ⑥ 単元の発展部では、子どもが言語活動を自力で遂行できるようになっているか
- ・ 教科書教材で終わるのではなく、並行読書してきた、自ら選んだ本や文章を用いて言語活動を展開することを位置付けているか
- ⑦ 本時の学習活動も、単元を貫く言語活動と密接に結び付くものとなっているか
- ・ 本時の学習課題を、単元を貫く言語活動と結び付けて設定しているか
（例：「変身ボックス」で紹介したい、心に残る登場人物の気持ちの変化を見付けよう→単元を貫く言語活動とどうつながるのかを子どもが容易に見通せるようにする）
 - ・ 子どもの主体的に学ぶ態度を育むための発問や指示を位置付けているか
（例：「あなたの大好きなどころを見付けて紹介しよう」「あなたの心に残る登場人物の気持ちの変化を説明しよう」「乗り物の『すごい!』を見付けて紹介しよう」「自分の説明に取り入れたい、筆者の表現の工夫を見付けよう」「心に残る情景描写を推薦し合おう」「グッとくる人物の性格や言動を推薦しよう」）
 - ・ 本時のそれぞれの学習活動を、単元を貫く言語活動と結び付けることで、子どもが何のためにその学習活動を行うのか理解できるようにしているか
（例：本時の導入時に、単元の導入時から用いてきた教師自作のモデルを示して、「今日はここを作るんだよ」などと一目で学習の意味付けが分かるように示す）
 - ・ 展開部の本時にも、発展部の学習活動を部分的に入れ込むなどの工夫を行っているか
 - ・ 交流を行う必然性が子どもにも明瞭に意識できるようにする手立てや児童の意識を、本時の学習指導案に明記しているか（ここをみんなに聞きたい、不安だから意見をもらいたい、大好きなところを分かってほしい等々）

【参考】『「単元を貫く言語活動」を位置付けた小学校国語科学習指導案パッケージガイド』低・中・高 明治図書 2014, 5